

平成27年度第2回SPODネットワークコア運営協議会 議事次第

日時：平成27年6月5日（金）9：15～10：15

場所：各コア校（遠隔会議システム利用）

議題：

1. SPOD事業評価について

- ・平成26年度SPOD事業の評価について 【資料1-1】
- ・事業評価シート 【資料1-2】
- ・「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」(SPOD)事業評価委員会要項 【参考資料1-1】
- ・「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」事業評価委員会委員名簿 【参考資料1-2】

2. SPODフォーラムについて

- ・SPODフォーラム2015実施要項 【資料2-1】
- ・SPODフォーラム2015プログラム(案) 【資料2-2】
- ・SPODフォーラム2015チラシ(案) 【資料2-3】
- ・SPODフォーラム2015アンケートフォーム(事前) (WEB用) (案) 【資料2-4】
- ・SPODフォーラム2015アンケートフォーム(事後) (個別) (案) 【資料2-5】
- ・SPODフォーラム2015アンケートフォーム(事後) (WEB用) (案) 【資料2-6】

3. 授業設計ワークショップの開催について

- ・授業設計ワークショップ実施要項 【資料3】

4. 授業デザインワークショップの開催について

- ・授業デザインワークショップ実施要項 【資料4】

平成26年度SPOD事業の評価について

SPODでは、毎年度事業評価を行い、次年度の事業に活用することとしている。

このたび、平成26年度事業について、5名の「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」(SPOD)事業評価委員会委員から活動報告書及びヒアリングをもとに評価をいただいた。

各委員からは、SPOD設立10年目を前に事業の再検討を行うために設置した「将来構想ワーキンググループ」が本格的に始動したことにに関して高い評価をいただいた。一方で、達成目標の設定及び達成度を判断する評価基準を明確化することなどが求められた。各委員からの主な意見は以下のとおり。

【1】活動計画及び活動実績について

①FD

(強み)

【新任教員研修】

- ・基準枠組みに基づいたプログラムの標準化を行い、SPOD全体で実施していることは特筆に値する。
- ・充実した研修プログラムを持つ余裕のない大学にとっては、SPODという大学間連携の強みが最大限にいかされた事業である。開催大学だけでなく他大学からの参加がある点も、参加者相互の交流が見込まれる点、SPODならではの強みかと思う。事後アンケートからも参加者の満足度は高く、ぜひ続けてほしい事業である。
- ・過去3年間の受講者に対するアンケート調査を実施し、単発的な研修ながら研修後にも中期的な効果を上げていることを確認した点は大いに評価できる。

【ティーチング・ポートフォリオ】

- ・教育業績記録(ティーチング・ポートフォリオ)研修、更新ワークショップは教員個人の教育実践の振り返りに必須の道具、技能であり、今後も発展されることを望む。
- ・安定的な開催が続けられている点は素晴らしい。あわせて更新ワークショップも開催され、ポートフォリオの継続的活用の支援という観点からも好ましい体制が作られている。

【各種FDプログラム】

- ・教育現場の実態を踏まえた様々なテーマについて幅広く実施している。
- ・時宜にあったプログラムを開発している点は素晴らしい。
- ・プログラムの充実ぶりと、その維持(ルーティーン化)については申し分ないと思われる。

(弱み)

【ティーチング・ポートフォリオ】

- ・参加者があまり多くないのが気にはなる。作成ワークショップの開催だけでなく、ティーチング・ポートフォリオそのものの周知を目的としたセミナーや体験版(ポートフォリオチャート)のミニ・ワークショップなど、認知度をあげる工夫が必要なのではないか。

【各種FDプログラム】

- ・FDを提供できる人材を育成する事業についても、SPOD事業の継続を考えた時には設計があるとよいと思う。

・ PFF（プレ FD）、TA 講習などが（新任教員研修でも用いられる）基準枠組みの中でどう位置付けられるのか。SPOD の中で規定するのは難しいが、標準化の対象となろう。

【FD 事業全般】

・ 今後は、これまでの事業を（量的に）継続するだけでなく、SPOD の将来構想と見合わせながらの（質的な）精選について検討が必要となるはずである。

②SD

（強み）

【全体】

・ 事業全体が極めて体系的、網羅的なプログラムからなり、他大学、地域の追随を許さないものである。

・ 全体として、専門職養成プログラム、次世代養成ゼミナール、講師養成講座、SPOD-SDC の認定など SD プログラムが非常に充実している点は、他の大学、コンソーシアムに例がなく高く評価されるべきことである。

【各種SDプログラム】

・ 経営者・管理者養成プログラムは、SD 部門に限られてはいるが、今後、本邦の大学経営を担う人材を育成するために必須のプログラムであり、ここでの実績と経験は今後、マネジメントを担うプロフェッショナル養成のための貴重な知見となろう。

・ スタッフ・ポートフォリオは、教員と同様、職員の業績記録を残し、振り返りを進める上で必須の道具となることが予想される。今後、それをどのように普及させ、評価に活用するか、さらなる研究が進むことを期待する。

【講師養成】

・ SD プログラムの講師自体を講座の中で養成する仕組みは効果的であり、かつ今後の発展のために重要な取組である。

・ 参加者からの満足度も高く、SD の裾野を広げる取り組みとして素晴らしい。

【SPOD-SDC】

・ SPOD-SDC の認定は SPOD における特徴的な取り組みである。資格認定に関しては、SPOD に特化したものではあるものの、これが今後 SD を担う人材のスタンダードになりうる可能性があり、また、それを目指していただければとも思う。

（弱み）

【全体】

・ この SD 事業が各大学においてどのように位置づけられているのかによって、普及の速度や範囲が異なってくると思われる。各大学の執行部の共通理解を促進する仕組みが必要である。

・ 国大協や私大協、私大連盟などの大学団体の行う研修との棲み分けも意識していく必要があるのではないかと。

・ SD プログラムを受講した参加者がその事実をどう評価されるのか、その評価枠組みについても好ましい適用のあり方や、事例の提示など、評価として定着を促す方向性を示す必要がある。

【講師養成】

・SDに対する考え方の違いから、職員の成長モデルに違和感をもつところもある。例えば、研修講師を担える職員を育成するプログラムについては、TFA（Teach For America）の取組み等と比較しながら検討する余地はあるかもしれない。SPOD のプログラムでは、研修講師になること（手段）が目的化しているように見えてしまう。

③組織運営等

（強み）

【将来構想WG】

・将来構想ワーキングが発足し、10年目に向けたSPODの運営について議論を始めたことは極めて重要である。

・将来的な方向性についての検討できる組織体制が整っている。

【調査・研究プロジェクト】

・カークパトリックの第三、第四レベルでの効果検証をめざして、今年度初めて過去にさかのぼる効果検証を行った。引き続きこの取組を推進されることを期待する。

・調査・研究プロジェクト事業として、FDに関する連携効果検証のワーキンググループおよび連携効果・組織変容検証プロジェクトチームが構成され、種々の研修プログラムが実施にとどまらず検証を行い、それが研究として発信される方向性は日本の高等教育全体の質向上に資する取り組みとして高く評価すべきことと思う。

【フォーラム】

・SPODフォーラムは全国的に認知され、SPOD自身にも大きな自信を与えている。その先進性と他地域の大学に対する貢献は大いに評価できる。体制としても安定した開催がなされており、今後も引き続き開催継続をしてほしい。

【その他】

・四国全体の高等教育機関に定着している。

・四国以外の大学関係者にも影響が及んでいる。

・毎年新しいプログラムの開発が計画的に実施されており、計画的な運営体制が整っていることはSPODの体制が安定していることの証左かと思う。

（弱み）

・将来構想ワーキンググループが3回開かれているものの、得られている結論は前年度でも既に問題とされている課題であり議論が進んでいないように見える。また、このワーキングで提案されることがどの程度の実効性を持つものなのか、その位置づけが重要ではないか。

・一大学からの退会をどのように位置付けるか。捉え方によっては、これを契機に検討できることもあるだろう。

・事業を見直し、整理し（分類を見直し）ていくことは考えられる。例えば、「FD事業」、「SD事業」といったカテゴリーで全体を眺めるのではなく、「研修事業」として、教員対象（FD）／職員対象（SD）というようなツリー化、同じように「ポートフォリオの開発」として、ティーチング／アドミニスト

レーションというように、各事業の再配置を考え、プログラムの過不足を再考するといった具合である。それが進めば、出版事業や広報（ウェブ）事業も加わり、その進捗が見えてくるかもしれない。

- ・運営の中心に私立大学の職員が極めて少ない。

【2】次年度実施に向けての提案

【全体】

・SPOD の目標に対応する単年度（もしくは複数年度）の達成目標を掲げ、それぞれの達成目標をどのプロジェクト、プログラム群で達成するのか、そしてそれが達成されたことを見極める評価指標、評価基準は何なのかを事前に示す必要がある。報告書自体は、それらの達成目標がどの程度達成されたかを簡潔に述べるだけで十分である。

・将来構想ワーキンググループの更なる実質化に期待する。実質化にあたって配慮を願いたいことは、WG メンバーの構成が、SPOD の縮図となっているような仕掛けである。大学・短大や高専、教員や職員、管理職や若手、地域性というように、リソース（ステークホルダー）を広げての検討が待たれる。

【運営】

- ・特定の教職員、特定の大学への業務集中を避けることが継続可能性につながるのではないか。

【加盟校に対して】

・各加盟校の取組報告を見た限りでは、大学としての教育活動や事務局業務の組織的な改革にどのような変化があったのか定かではないものが多いので、その点を記述してもらうようにしたらいかがだろうか。

- ・SPOD（の将来）に対する参画（当事者）意識を高めるための工夫が重要である。
- ・SPOD としての取り組みについて、各加盟校の教職員に対するより一層の広報活動と、そのプログラム参加の価値付けを各加盟校に確立していくことが期待される。

【調査・研究プロジェクト】

・調査研究部門が整備されてきたので、これまでの受講生や指導者からの声や意見などのビッグデータを研究対象とすることができる。これらを解析することによって新たなプログラム創設等に利用されることを期待する。

・受講時の満足度は極めて高く大変良いが、彼らが受講して数年後に、SPODで学んだことで、「何ができるようになったのか」「何を変えることができたか」改めて検証する必要がある。訪問調査なども行われているとのことなので結果に基づいたプログラムの検証も必要だと思う。

【各種プログラム】

・研修プログラムのカテゴリをもう少し具体化する。現在の「授業の基本」、「大学職員としての基礎的能力」等のカテゴリは大区分すぎて内容が分かり難い。発足当初はよいネーミングであったかもしれないが、受講し易くするために中分類的なレベルで区分し、もう少し具体的に理解できるような分類の開発を願えればと思う。

・受講生が学んだ上で、研修の講師を務めることは、「教えることは学ぶこと」にもなるので大変良いが、若手職員が、講師の職員を将来の自分のロールモデルとするというのは、どのような点なのか整理しておく必要がある。

SPODフォーラム2015の開催について（案）

（趣旨）

「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク（ネットワーク略称＝SPOD）」の企画として、SPODの実施する研修プログラム等を集中的に提供する。

（主催）

四国地区大学教職員能力開発ネットワーク

（共催）

愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室（教職員能力開発拠点）

（日時・会場）

日時 平成27年8月26日（水）～ 8月28日（金）

会場 愛媛大学城北キャンパス 法文学部講義棟，南加記念ホールほか

（全体テーマ）

「学びの成果をどう可視化するか？」

（参加対象者）

1. 「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」加盟校の教職員
2. 1. 以外で、高等教育機関に所属している方及び高等教育行政に携わっている方
 - ※SPOD加盟校の参加者を優先する。
 - ※原則として民間企業に勤務している方の参加はお断りする。

（内容）

あらゆる立場の教職員が、その場でスキルアップにつながるような実践的なプログラムを提供する。

（今後のスケジュール（予定））

5月11日（月）	各コア校が担当するコマのタイトル・講師等の提出期限 （提出先：SPOD事務局（愛媛大学教育企画課））
5月18日（月）	ポスターセッション申込開始
5月29日（金）	シラバスの提出期限 （提出先：SPOD事務局（愛媛大学教育企画課））
6月5日（金）	ネットワークコア運営協議会においてプログラムの最終確認
6月12日（金）	ポスターセッション申込締切
6月上～中旬	案内チラシ作成
6月中～下旬	案内チラシ送付（SPOD加盟校を含む全国の大学）
6月26日（金）	SPOD加盟校向け参加申込開始
7月10日（金）	SPOD加盟校向け参加申込締切
7月14日（火）	全国の大学（SPOD加盟校含む）の参加申込み開始
7月28日（火）	全国の大学（SPOD加盟校含む）の参加者申込締切
8月26日～28日	SPODフォーラム2015実施

SPODフォーラム2015開催スケジュール(案) 全体テーマ:「学びの成果をどう可視化するか?」

※タイトル、講師赤字部分が前回コア運営協議会からの変更箇所

日程	会場	法文学部講義棟 302講義室	法文学部講義棟 303講義室	法文学部講義棟 304講義室	法文学部講義棟 403講義室	法文学部講義棟 404講義室	愛大ミュージアム アクティブ・ラーニングスペース2	法文学部講義棟 305講義室
全体受付・クローク:[法文学部講義棟101講義室]								
8月2日(水)	9:00~	2601A 「学生の学習意欲を促進する授業設計」 川瀬和也(徳島大学) 32名	2601B 「研究支援職員としての基礎知識」 ゼロから始める研究者との協働」 宮内卓也(高知大学) 28名	2601C 「社会連携系職員養成プログラム」 レベル1「地域特性論」 -地方創生・地域資源を 活用した地域の活性化- 坂本世津夫(愛媛大学) 40名	2601D 「学生の学びやすさと学習意欲を高める 授業設計-課題分析図の活用-」 仲道雅輝(愛媛大学) 32名	2601E 「大人教員のための基本」 小林直人(愛媛大学) 60名	2601F 「教育学IRにおけるリサーチ・クエスチョン の作り方:教育改善の実現に向けて」 川那部隆司(立命館大学) 36名	2601G 「教育学IRにおけるリサーチ・クエスチョン の作り方:教育改善の実現に向けて」 川那部隆司(立命館大学) 36名
8月6日(水)	10:00~ 12:00	2602A 「理系講義形式授業において学生の 学習を促進する授業デザイン」 吉田博(徳島大学) 榎原暢次(芝浦工業大学) 30名	2602B 「若手職員に贈るチームワーク入門」 「目の前の仕事をこなす」からの ステップアップ」 次世代リーダー養成ゼミナール(5期生) 28名	2602C 「学生のキャリア形成支援」 岡靖子(愛媛大学) 40名	2602D 「相互理解を通じたチーム力向上」 -自己理解・他者理解に役立つ視点の 提供-」 杉本洋一(香川大学) 20名	2602E 「教育改善のためのIR活用」 中井俊樹, 清水栄子(愛媛大学) 60名	2602F 国際連携系職員養成プログラム レベル1① 「外国人受入入門」 -留学生の受入 A to Z- 塩川雅美(摂南大学) 36名	2602G 国際連携系職員養成プログラム レベル1② 「海外派遣入門」 塩川雅美(摂南大学) 36名
8月7日(木)	13:00~ 15:00	2603A 「ジグソー学習法を用いた グループワークの進め方」 村田晋也(愛媛大学) 20名	2603C 「ケースで学ぶ大学リーダーシップ」 中島英博(名古屋大学) 40名	2603D 事例報告「学習成果の可視化にむけて」 小西敏雄(松山東雲女子大学) 坪井恭子(阿南工業高等専門学校) 平尾智隆(愛媛大学) 40名	2701D 「ルーブリック評価入門」 -考える, つくる, 活用する-」 長野秀典(高知大学) 40名	2701E 「大学図書館での学習支援」 -限られたスタッフ・予算・時間の中で 取り出し方-」※ 玉岡兼治(愛カタリナ大学) 山本直也(四国大学) 30名	2701F 「アクティブラーニング」 -効果的な学習課題のつくり方-」 中井俊樹(愛媛大学) 36名	2702G トッパーリーダーセミナー 「学習成果をめぐる国内外の動向」 -学内・国内・国際社会における台意 形成のアプローチ-」 深堀聰子(国立教育政策) 80名
8月27日(木)	13:00~ 15:00	2702A 「大学版反転授業TBL: チーム基礎型学習の手法」 立川明(高知大学) 40名	2702B 「会議を有意義な時間にするための マネジメント手法」 丸山智子(愛媛大学) 30名	2702E 「学修成果の可視化とポートフォリオ」 根本淳子(愛媛大学) 60名	2702F 「大学の危機管理」 -事例から考えるハラスメント-」 吉田一恵, 倉田千春(愛媛大学) 36名	2702G トッパーリーダーセミナー 「学習成果をめぐる国内外の動向」 -学内・国内・国際社会における台意 形成のアプローチ-」 深堀聰子(国立教育政策) 80名	2702H シンポジウム 「学びの成果をどう可視化し, 組織的な教育改善を推進するか」(南加記念ホール) 高橋哲也(大阪府立大学) 福島真司(山形大学) 橋本智也(京都光華女子大学) 司会:小林直人(愛媛大学) 200名	2702I トッパーリーダーセミナー 「学習成果をめぐる国内外の動向」 -学内・国内・国際社会における台意 形成のアプローチ-」 深堀聰子(国立教育政策) 80名
8月28日(金)	18:15~ 20:15	2801A 「学びを促進するための学習支援と アカデミック・アドバイザー」 清水栄子, 加地真弥(愛媛大学) 40名	2801B 「教育データ解析法入門: 学びの成果の 量的指標を読み解くために」 中山晃(愛媛大学) 36名	2801C 「部下・若手職員の育成」 -自ら学び成長する-」 米澤慎二(追手門学院大学) 30名	2801D 「グラフィック・シラバスを作ろう!」 宮田政徳(徳島大学) 36名	2801E 「障がい学生への配慮と 大学教育の本質」 青野透(徳島文理大学) 60名	2801F 「大学組織論」 -大学はどのような論理で動くのか-」 中井俊樹(愛媛大学) 36名	2801G トッパーリーダーセミナー 「学習成果をめぐる国内外の動向」 -学内・国内・国際社会における台意 形成のアプローチ-」 深堀聰子(国立教育政策) 80名

FDプログラム (緑色) FD/SD共通プログラム (灰色) SDプログラム (黄色)

◆を付したプログラム SPOD-SDマップに基づき開講されるプログラム

※ 事前アンケートの都合上, 7月24日(金)締切

法文学部講義棟
全体受付・クローク:101, 物品庫:102, 講師控室:202
ポスターセッション会場:201, 休憩・展示スペース:203

SPODフォーラム 2015



学びの成果をどう可視化するか？

Shikoku Professional and Organizational Development Network in Higher Education



SPODフォーラムは… 大学等の教職員が自らの能力開発のために役立つ、多種多様で質の高いFD/SDプログラムならびに組織を超えた持続的な相互交流・関係づくりの場を提供します。

日時・場所

2015年 **8/26** (水) ▶ **28** (金) 愛媛大学
城北キャンパス

主催

四国地区大学教職員能力開発ネットワーク (SPOD)

参加申込

※事前申込制 (先着順)

SPOD加盟校の教職員限定受付 2015年6月26日(金)正午~7月10日(金)正午

一般受付 (SPOD加盟校の方も申込可) 2015年7月14日(火)正午~7月28日(火)正午

申込みはWEBから

<http://www.spod.ehime-u.ac.jp/>

※申込開始時には各プログラムのシラバスがご覧になれます。

参加費 ※

SPOD加盟校の教職員

無料

SPOD加盟校以外の教職員

7,000円

※情報交換会費は除きます。

特徴

1 多彩な講師陣

先進的な教育改革で知られる大学のトップ、各大学のFDやSDの第一線で活躍する教職員やティベロッパー、職場の人材育成・能力開発分野で活躍するプロフェッショナルなど、多彩かつ魅力的な講師陣をそろえました。

特徴

2 職場で使える実践型プログラム

講師と受講者の間でのインタラクティブなワークショップ形式のプログラムが数多く開講されます。参加者には、意見を出し合い知を共同で作り上げることが求められると同時に、職場ですぐに使える実践的なノウハウを持ち帰ることができます。

特徴

3 SDプログラムも多数開講

SPODでは、FD(教員の能力開発)同様にSD(職員の能力開発)に力を入れており、他では体験できないプログラムを数多く開講しています。教育改善に関心のある多くの教職員の方の参加をお待ちしております。SDプログラムは教員の方も参加いただけます。

主な交通機関

※駐車スペースはありませんので、
公共交通機関の利用をお願いいたします。

JR松山駅から ・伊予鉄道市内電車…環状線①(古町方面行き)「赤十字病院前」下車

・伊予鉄バス……………東西線「愛媛大学前」下車

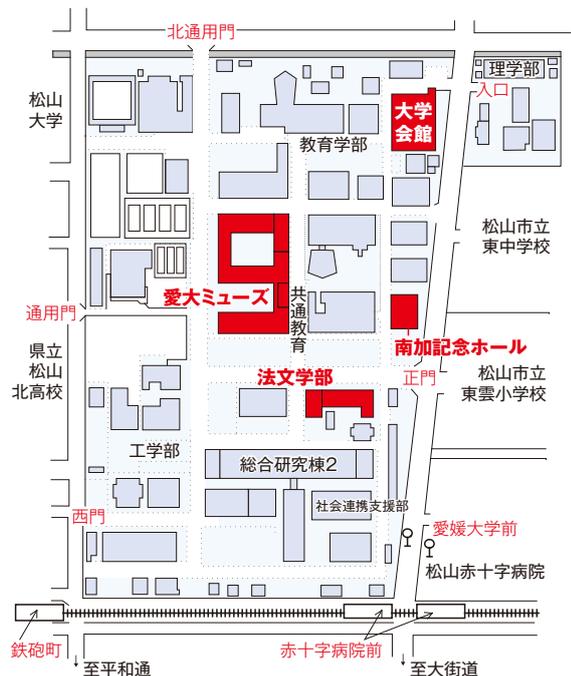
松山市駅から ・伊予鉄道市内電車…環状線②(大街道方面行き)「赤十字病院前」下車

—参加者の声—

●研修の形態がグループワークが基本となっていたので、未だに体に染み付いており、実際の現場で活用できる大きな収穫となっています。

●普段は学ぶ機会の少ないカリキュラム構築や評価などに関する基礎知識を得ることができました。

●「大学」といっても、国立と私立、地方と首都圏、単科と総合、教員と職員、研究と教育など、各大学が置かれる状況によって課題や取り組み方がさまざまであることを実感できました。様々な大学の教職員と交流することで、自分の環境をとらえる視点が増えたと感じられました。



お問合せ先

四国地区大学教職員能力開発ネットワーク事務局 (愛媛大学教育企画課)

☎ 089-927-9154

✉ E-mail spod@stu.ehime-u.ac.jp

全体受付 プログラムを受講する方は、必ず受講初日に全体受付を済ませてください。
■場所：法文学部講義棟101講義室 ■時間：8月26日(水)~28日(金) 9:00~



過去の資料等は
こちら

会場 日時	法文学部講義棟 302講義室	法文学部講義棟 303講義室	法文学部講義棟 304講義室	法文学部講義棟 403講義室	法文学部講義棟 404講義室	愛大ミューズ アクティブ・ラーニング スペース2	法文学部講義棟 305講義室
1日目 8月26日(水)	10:00~12:00 FD 2601A New!! 学生の学習意欲を促進する授業設計 川瀬和也(徳島大学) 32名	SD 2601B 研究支援職員としての基礎知識 -ゼロから始める研究者との協働- 宮内卓也(高知大学) 28名	FD・SD共通 2601C 社会連携系職員養成プログラムレベル1 New!! 地域特性論-地方創生・地域資源を活用した地域の活性化- 坂本世津夫(愛媛大学) 40名	FD 2601D 学生の学びやすさと学習意欲を高める授業設計-課題分析図の活用- 仲道雅輝(愛媛大学) 32名	FD 2601E 大人数講義法の基本 小林直人(愛媛大学) 60名	FD・SD共通 2601F New!! 教学IRにおけるリサーチ・クエストの作り方:教育改善の実現に向けて 川那部隆司(立命館大学) 36名	
	13:00~15:00 FD 2602A 理系講義形式授業において学生の学習を促進する授業デザイン 吉田博(徳島大学) 橋原輔久(芝浦工業大学) 30名	SD 2602B New!! 若手職員に贈るチームワーク入門「目の前の仕事をこなす」からのステップアップ 次世代リーダー養成ゼミナール(5期生) 28名	SD 2602C New!! 学生のキャリア形成支援 岡崎子(愛媛大学) 40名	SD 2602D New!! 相互理解を通じたチーム力向上-自己理解-他者理解に役立つ視点の提供- 杉本洋一(香川大学) 20名	FD・SD共通 2602E New!! 教育改善のためのIR活用 中井俊樹, 清水栄子(愛媛大学) 60名	FD・SD共通 2602F 国際連携系職員養成プログラムレベル1① New!! 外国人受入門-留学生の受入 A to Z- 堀川雅美(摂南大学) 36名	
	15:30~17:30 FD 2603A ジグソー学習法を用いたグループワークの進め方 村田晋也(愛媛大学) 20名		FD・SD共通 2603C New!! ケースで学ぶ大学リーダーシップ 中島英博(名古屋大学) 40名	FD・SD共通 2603D New!! 事例報告 学習成果の可視化にむけて 小西敏雄(松山東雲女子大学) 坪井泰士(阿南工業高等専門学校) 平尾智隆(愛媛大学) 40名		FD・SD共通 2603F 国際連携系職員養成プログラムレベル1② New!! 海外派遣入門 堀川雅美(摂南大学) 36名	
17:40~19:00	ポスターセッション 法文学部講義棟201講義室		見学自由(ポスター出展申込については、SPODホームページをご覧ください。)				

2日目 8月27日(木)	10:00~12:00 FD 2701A 橋本メソッドを反転授業でやろう!! 金西計英(徳島大学) 40名	FD・SD共通 2701B プロジェクトを成功に導くマネジメントとデザイン思考 丸山智子, 仲道雅輝(愛媛大学) 30名	SD 2701C New!! 人材育成のための人事評価-評価の心構えとその手法- 岡部光伸(愛媛大学) 新名敏弘(聖カタリナ大学) 40名	FD 2701D ルーブリック評価入門-考える, つくる, 活用する- 保野秀典(高知大学) 40名	FD・SD共通 2701E New!! ※ 大学図書館での学習支援-限られたスタッフ・予算・時間の中での創り出し方- 玉岡兼治(聖カタリナ大学) 亀岡由佳(徳島大学) 山本哲也(四国大学) 30名	FD 2701F New!! アクティブラーニング-効果的な学習課題のつくり方- 中井俊樹(愛媛大学) 36名		
	13:00~15:00 FD 2702A 大学版反転授業 TBL:チーム基盤型学習の手法 立川明(高知大学) 40名	SD 2702B New!! 会議を有意義な時間にするためのマネジメント手法 丸山智子(愛媛大学) 30名		FD 2702D New!! 始めよう!アクティブ・ラーニング-協同学習・文章作成の技法編- 西本佳代(香川大学) 30名	FD・SD共通 2702E New!! 学習成果の可視化とポートフォリオ 根本淳子(愛媛大学) 60名	FD・SD共通 2702F 大学の危機管理-事例から考えるハラスメント- 吉田一恵, 倉田千春(愛媛大学) 36名	FD・SD共通 2702G New!! トップリーダーセミナー-学習成果をめぐる国内外の動向-学内・国内・国際社会における合意形成のアプローチ- 深堀聡子(国立教育政策研究所) 80名	
	15:30~17:45	FD・SD共通 2703H シンポジウム 南加記念ホール New!! 学びの成果をどう可視化し、組織的な教学改善を推進するか 高橋哲也(大阪府立大学) 福島真司(山形大学) 橋本智也(京都光華女子大学) 司会:小林直人(愛媛大学) 200名						
18:15~20:15	情報交換会 会場:愛媛大学 大学会館1階 会費:4,000円(事前申込み制)							

3日目 8月28日(金)	10:00~12:00 FD・SD共通 2801A 学びを促進するための学習支援とアカデミック・アドバイザー 清水栄子, 加地真弥(愛媛大学) 40名	FD・SD共通 2801B New!! 教育データ解析法入門:学びの成果の量的指標を読み解くために 中山晃(愛媛大学) 36名	SD 2801C 部下・若手職員の育成-自ら学び成長する- 米澤慎二(自衛隊学院大学) 30名	FD 2801D New!! グラフィック・シラバスを作ろう! 宮田政徳(徳島大学) 36名	FD・SD共通 2801E New!! 障がい学生への配慮と大学教育の本質 青野透(徳島文理大学) 60名	FD・SD共通 2801F New!! 大学組織論-大学はどのような論理で動くのか- 中井俊樹(愛媛大学) 36名	
	13:00~15:00	FD・SD共通 2802A New!! テーマ別ラウンドテーブル映像を活用した授業・研修 小林忠資(愛媛大学) 40名	SD 2802B New!! ワールド・カフェ-SDについて語ろう- 野口里美(香川大学) 40名	FD・SD共通 2802C New!! テーマ別ラウンドテーブル学生支援の現状と課題-私たちにできることは?- 清水栄子(愛媛大学) 40名	FD・SD共通 2802D New!! テーマ別ラウンドテーブル学びの成果をどう可視化するのか? 小林直人(愛媛大学) 40名		

* 2701Eの申込みは、事前アンケートの都合上、7月24日(金)に締め切ります。

00名 プログラム定員

連続受講が必須のプログラム

SPOD-SDマップに基づき開講されるプログラム

セミナーお申込みフォーム

手順

1. セミナーお申込みフォームから参加希望のプログラムをお申込みください。
2. すぐにSPODフォーラムお申込み内容確認メール(自動配信)が送信されます。
3. SPOD事務局において、先着順に各プログラムの人数を確定し、改めて、受付完了メールをお送りします。
4. お申込者が受付完了メールを受信後、申込みが確定されます。

※申込み内容に変更がある場合は、SPOD事務局 (spod@stu.ehime-u.ac.jp) まで、メールにてご連絡ください。申込フォームから、登録プログラムの変更・取消はできません。8月11日(火)以降は、キャンセルのご連絡のみ承ります。
 ※SPODは、加盟校の皆様の会費によって運営しています。そのため、SPOD加盟校以外の皆様には、参加費として一律7000円徴収させていただきます。参加費は、受講後お送りする振込用紙にてお支払いください。

▼ 個人情報等についてご入力ください。

*は必須項目です。
 ※旧字体、機種依存文字の入力は、データが正常に表示されないことがありますのでご注意ください。

学校種*	<input type="radio"/> 大学 <input type="radio"/> 短期大学 <input type="radio"/> 高等専門学校 <input type="radio"/> その他	
学校名*	国立 <input type="checkbox"/>	<input type="text"/>
学校の所在地*	↓ 都道府県名を選択 ↓ <input type="text"/>	
所属*	<input type="text"/> 例:○○学部○○課	
職種*	<input type="radio"/> 教員 <input type="radio"/> 職員 <input type="radio"/> 学生/大学院生 <input type="radio"/> その他	
職名*	<input type="text"/> 例:教授(課長)	
変更 フリガナ(全角)	<input type="text"/>	例: 変更 エヒメ タロウ
フリガナ	<input type="text"/>	例: えひめ たろう
電話番号* (半角入力)	<input type="text"/>	(携帯可) 追加 例) 01234567899
E-mail*	<input type="text"/>	
E-mail* (再入力)	<input type="text"/>	
年齢	<input type="radio"/> 20歳未満 <input type="radio"/> 20歳代 <input type="radio"/> 30歳代 <input type="radio"/> 40歳代 <input type="radio"/> 50歳代 <input type="radio"/> 60歳以上	
大学教職員等の経験年数*	<input type="text"/> 年	例: 10年
備考欄(120文字以内)	<input type="text"/> 追加 例: 10年	

入替えて追加

追加項目

SPOD加盟校（四国）以外の大学に所属の方は、受講後振込用紙を送付いたしますので、必ず以下をご記載ください。

- ・ 振込用紙送付先 自宅 勤務先 ボタンで選択
- ・ 振込用紙送付先の郵便番号(半角入力)
- ・ 振込用紙送付先の住所
- ・ 振込用紙送付先の所属

▶ セミナーお申込フォームの入力方法

▶ 過去の研修資料等

※資料については、講師に許可されたもののみ掲載しています。

▶ フォーラム2015シラバス

・・・連続受講が必須のプログラムです。

※ **FD** **SD** 等の表示は、教員、職員を限定するものではありません。

※ セミナー名称をクリックすると詳細情報が拡大表示されます。うまく表示されない場合は、詳細情報をご覧ください。

8月26日(水)

8月27日(木)

8月28日(金)

リセット

8月26日(水) -1日目-							
受付開始 9:00 ~ 全体受付会場:[法文学部講義棟101講義室]							
法文学部講義棟					愛大ミュージアム	法文学部講義棟	
時間	302講義室	303講義室	304講義室	310番教室	403講義室	AL2	305講義室
1時限 10:00 ~ 12:00	<p>FD</p> <p>● 26 学生の 欲を促 業設計</p> <p>川瀬和 (徳島)</p> <p>【定員】</p> <p> シラバス</p> <p>PDF</p>						
2時限 13:00 ~ 15:00	<p>FD</p> <p>● 26 理系講 授業に 学生の 促進す デザイ</p> <p>吉田博 (徳島)</p> <p>榊原暢久 (芝浦工業大 学)</p> <p>【定員:30名】</p> <p> シラバス</p> <p>PDF</p>	<p>養成ゼミナール (5期生)</p> <p>【定員:28名】</p> <p> シラバス</p> <p>PDF</p>		<p>(香川大学)</p> <p>【定員:20名】</p> <p> シラバス</p> <p>PDF</p>	<p> シラバスPDF</p> <p>(常翔学園)</p> <p>※SPOD-SDマッ プに基づき開講さ れるプログラムで す。</p> <p>【定員:36名】</p> <p> シラバスPDF</p>		
3時限	<p>FD</p> <p>● 2602A ジグソー学習法 を用いたグルー プワークの進め 方</p> <p>村田晋也</p>		<p>FD</p> <p>● 2602C ケースで学ぶ大 学リーダーシップ</p> <p>NEW</p> <p>中島英博 (名古屋大学)</p>	<p>FD</p> <p>● 2602D 事例報告「学 習成果の可視 化にむけて」</p> <p>NEW</p> <p>小西敏雄</p>		<p>FD</p> <p>● 2602F 国際連携系職員 養成プログラム レベルI②「海外 派遣入門」</p> <p>NEW</p> <p>塩川雅美</p>	

今年度プログラムに変更予定

15:30 ～ 17:30	(愛媛大学) 【定員:20名】 シラバス PDF	【定員:40名】 シラバスPDF	(松山東雲女子 大学) 坪井泰士 (阿南工業高等 専門学校) 平尾智隆 (愛媛大学) 【定員:40名】 シラバス PDF	(常翔学園) ※SPOD-SDマッ プに基づき開講さ れるプログラムで す。 【定員:20名】 シラバスPDF
17:40 ～ 19:00	FD・SD共通 ポスターセッション 法文学部講義棟201講義室 ※見学自由(ポスター出展申込については、別途案内済)			

▼ **懇親会**について **変更
情報交換会**

SPODフォーラムでは、**8月27日(木)**に**懇親会**を用意しております。
SPODフォーラムの趣旨の1つに、組織を越えた意義のある「相互交流・関係づくりの場の提供」を掲げています。フォーラムには、講師の方をはじめ、国立・公立・私立、大学・短大・高専の多数の教職員や学生が参加されますので、相互交流や関係づくりを行うことができます。
懇親会は、ビュッフェスタイルの夕食を食べながら、情報交換・人脈づくりができる場です。所属組織を越えた、意義あるネットワークづくりの場です。是非ご参加ください。

*は必須項目です。 **変更
平成27年**

懇親会*	日 時:平成26年8月27日(木)18:15～20:15 会 場:愛媛大学学生会館1階 会 費:4,000円(事前申込制 全体受付時に支払いください。) <input type="radio"/> 参加する <input checked="" type="radio"/> 参加しない
------	---

▼ 本フォーラムの実施にあたり参考とするため、下記の事前アンケートにお答えください。

*は必須項目です。

SPODフォーラムの参加は何回目ですか？*	1回目 ▼
SPODフォーラムについてどこで知りましたか？* (複数選択可)	<input type="checkbox"/> SPODホームページ <input type="checkbox"/> SPODメールマガジン 変更 2015 <input type="checkbox"/> SPODフォーラムチラシ <input type="checkbox"/> SPOD研修プログラムガイド 2014 <input type="checkbox"/> SPOD関係者からの案内 <input type="checkbox"/> その他 <input type="text"/>
SPODフォーラムに参加した動機は何ですか？* (複数選択可)	<input type="checkbox"/> 自分自身の能力開発のため <input type="checkbox"/> 組織の課題を解決するヒントを得るため <input type="checkbox"/> 組織を超えた人脈づくりのため <input type="checkbox"/> FDやSDに関する情報収集のため <input type="checkbox"/> 上司に参加をすすめられたため <input type="checkbox"/> その他 <input type="text"/>
変更 パネリスト シンポジウムのシンポジストに質問したいこと、など (700文字以内)	<input type="text"/>
各プログラムで学習したいこと、 期待していること、など (500文字以内)	<input type="text"/>

個人情報の取扱について
SPOD事務局では、個人情報の保護に努めております。ご記入いただいた個人情報は、SPOD事務局で管理し、SPODフォーラムの参加に関する確認・連絡及び受講者名簿の作成・配布以外には使用しません。

**追加
(氏名、所属、職名のみ)**
お申込み内容確認メールが自動送信されるように設定しております。お申込み内容確認メールが届いていない場合には、お手数ですが、SPOD事務局 (spod@stu.ehime-u.ac.jp) まで連絡をお願いいたします。

2015に変更

SPODフォーラム2014アンケートフォーム

SPODフォーラム2014にご参加いただき、ありがとうございました。
フォーラム全体について、率直なご意見をお聞かせください。

1. SPODフォーラムでの研修成果について

SPODフォーラムは全体的に満足できる内容であった

そう思う | どちらかといえばそう思う | どちらかといえばそう思わない | そう思わない

所属組織を越えて人脈を広げることができた

そう思う | どちらかといえばそう思う | どちらかといえばそう思わない | そう思わない

自分に必要な知識やスキルを身につけることができた

そう思う | どちらかといえばそう思う | どちらかといえばそう思わない | そう思わない

業務や教育に対する意識や考え方が変わった

そう思う | どちらかといえばそう思う | どちらかといえばそう思わない | そう思わない

業務や教育に積極的に取り組んでいきたいと思うようになった

そう思う | どちらかといえばそう思う | どちらかといえばそう思わない | そう思わない

フォーラムで得た知識やスキルを所属組織や教育現場で実際に活用している

そう思う | どちらかといえばそう思う | どちらかといえばそう思わない | そう思わない

フォーラムで得た知識やスキルを所属組織や他の教員に伝達している

そう思う | どちらかといえばそう思う | どちらかといえばそう思わない | そう思わない

今後もフォーラムをはじめ、SPODが提供するプログラムに参加したい

そう思う | どちらかといえばそう思う | どちらかといえばそう思わない | そう思わない

2. 感想、ご意見、ご要望等

SPODフォーラムに参加して良かったと思われる点を、具体的にお書き下さい。

SPODフォーラムをよりよいものとするために改善点があれば、具体的にお書き下さい。また、開催日程や会場等についてご要望がございましたら、あわせてお書き下さい。

SPODフォーラムで開講してほしい研修プログラムがあれば、具体的にお書き下さい。

SPODの事業全般についてご意見やご要望があれば、自由にお書き下さい。	
3. 参加者ご自身について	
所属先	<input type="radio"/> 大学 <input type="radio"/> 高等専門学校 <input type="radio"/> 短期大学 <input type="radio"/> その他 <input type="text"/>
所属先の設置者	<input type="radio"/> 国(国立大学法人) <input type="radio"/> 学校法人 <input type="radio"/> 地方自治体(公立大学法人を含む) <input type="radio"/> その他 <input type="text"/>
所属先の所在地	<input type="text" value="四国"/> ▼
職種	<input type="radio"/> 教員 <input type="radio"/> 学生 <input type="radio"/> 職員 <input type="radio"/> その他 <input type="text"/>
あなたはFDまたはSDの実施担当者ですか？	<input type="radio"/> FDの実施担当者 <input type="radio"/> SDの実施担当者 <input type="radio"/> FDとSD両方の実施担当者 <input type="radio"/> FDやSDの実施担当者ではない
<input type="button" value="確認画面へ"/> <input type="button" value="リセット"/>	

Copyright (C) 2014 SPOD All Rights Reserved.

以下を追加
 ・大学教職員等の経験年数
 ・SPODフォーラムの参加は何回目ですか？(申込みフォームと同じ形式で選択)

平成27年度徳島大学FD推進プログラム
「授業設計ワークショップ」実施要項

1 目的

各大学における教育の質向上への課題が高まる中、実質的なFDの取り組みを進めるための全学FD推進プログラムの一つとして、本ワークショップを毎年実施しています。このワークショップでは、教育の質向上及び問題解決のための相互交流と日常的な教育改善を重視しています。また、授業について教員同士が学び合う場を提供する事で、教育の質向上のためのコミュニティ形成につながることを期待しています。

2 目標

1. FD活動の理念、活動計画を理解することができる
2. 授業を計画し、実施し、評価する方法を体得することができる
3. 授業研究の仕方を理解し、実践することができる
4. FD参加者同士の仲間づくりができる

3 概要

このワークショップでは、主に授業設計と教育技術に関する理論と実践を学んでいきます。主な活動内容は、シラバスと授業計画の作成、模擬授業です。体験を通して、授業の目的、到達目標の設定、授業実施の留意点、評価方法等について理解し、具体的な授業計画を立て、模擬授業を実施します。これらの活動を通してご自身の授業について考え、振り返ることで、実践的な教育力の向上を目指します。(ワークショップまでにシラバスと授業計画書を一度作成頂くこととなります。)

4 実施日 平成27年6月20日(土)・21日(日)

5 実施場所 共通教育棟6号館201(徳島大学大学開放実践センター2階)他
*参加人数によっては教室を変更する場合があります

6 研修プログラム 別紙のとおり

7 対象者 (1) 徳島大学

- ・学外より、講師または准教授採用後1年以内の教員
- ・学内で、助教から講師または准教授昇任後1年以内の教員
(ただし、所属が研究部以外のセンター等、病院の場合、及びプロジェクト採用などの場合は除く。)
- ・学部等から推薦を受けた者(助教及び教授等)及び希望者
- ・平成26年度「授業設計ワークショップ」欠席者

【参加免除について】以下に該当する場合、参加が免除されます。

- ①学外で同様の研修を受けた場合(他大学等での研修修了者については、研修内容等がわかる資料を提出の上、個別に対応する。ただし、原則「授業コンサルテーション」、3年以内に「ティーチング・ポートフォリオ作成ワークショップ」への参加をすることとする。)
- ②診療業務を主に担当している場合

【研修の代替について】

やむを得ない理由により本研修を欠席する者で、SPOD*の同様の研修に参加した場合は、授業設計ワークショップの代替を認める。(ただし、原則「授業コンサルテーション」、3年以内に「ティーチング・ポートフォリオ作成ワークショップ」への参加をすることとする。)

(2) SPOD*加盟校

SPOD加盟校の大学・短期大学・高等専門学校の新任教員(若干名)

*SPOD=四国地区大学教職員能力開発ネットワーク

8 参加費 無料

9 その他 「授業設計ワークショップ」対象者は、原則「授業コンサルテーション」、3年以内に「ティーチング・ポートフォリオ作成ワークショップ」への参加をすることとする。
※「授業コンサルテーション」の詳細は、
<http://www.cue.tokushima-u.ac.jp/fd/article/0000268.html> をご覧ください。
※「ティーチング・ポートフォリオ」の詳細は、
<http://www.teaching-portfolio-net.jp/> をご覧ください。

10 主催 徳島大学FD委員会/四国地区大学教職員能力開発ネットワーク

授業設計ワークショップ日程

第1日 (2015年6月20日・土曜日)

集合場所：共通教育6号館201 (徳島大学大学開放実践センター2階)

時刻	内 容	講師・担当者	備 考
9:00-9:30	・受付 (共通教育6号館201) *9:20までにお集りください		7:00AM 徳島市に「大雨警報かつ暴風警報」または「洪水警報かつ暴風警報」が出ていたら中止
9:30-10:00	(1) オリエンテーション ・はじめに (副学長より挨拶) ・進め方とスタッフ紹介 ・研修のねらいと意義	吉田博 (進行) 副学長 (教育担当) 高石喜久 FD委員会委員長 赤池雅史	教室：6-201
10:00-10:30	(2) アイスブレイク「課題・目標設定」 ・参加者自己紹介・交流	上岡麻衣子	教室：6-201
10:30-11:20	(3) 講義・ワーク「アクティブ・ラーニング」 ・アクティブ・ラーニングの理論と効果 ・学生の深い学びを促す問いかけ	久保田祐歌	教室：6-201
11:20-12:00	(4) 講義「成績評価の仕方」 ・成績評価の意義・方法	川野卓二	教室：6-201
12:00-13:00	休憩 各自で昼食		*生協休業
13:00-14:50 <途中小休憩含む>	(5) 講義・ワーク「よりよい授業実施のために」 ・学生の学習を促す授業方法 ・反転授業の理論と実践 ・学習を省察するポートフォリオの活用 ・シラバス・授業計画書の書き方	吉田 博 金西計英 宮田政徳	教室：6-201
14:50-15:00	休憩		
15:00-16:00	(6) 体験「模擬授業の実施と解説」 ・模擬授業の実施 ・学生の主体的な学習を促進する授業方法	川瀬和也	教室：6-201
16:00-16:10	休憩		
16:10-17:45	(7) 講義・ワーク「授業計画」 ・シラバス・授業計画書の修正 ・2日目の模擬授業の進め方について	スタッフ全員 吉田 博	教室：6-201
18:00-20:00	交流会 (任意参加)	吉田 博	生協食堂2階

第2日 (2015年6月21日・日曜日)

時刻	内容	講師・担当者	備考
9:00-9:30	・集合、模擬授業準備 (教材印刷が必要な場合は9:00集合)	スタッフ	教室:6-201
9:30-12:10	(8) 模擬授業実施 (グループで実施) ・FD委員紹介、流れの確認 ・シラバス紹介、模擬授業実施、検討会 1人25分×4人 (休憩適宜) →チェックリストをもとによかった点、改善点等を検討する。	各班司会:FD委員 ワーク支援: スタッフ全員	集合:6-201 〈模擬授業実施手順〉 教室:各班グループ部屋へ移動 グループ分け、教室は別紙のとおり。
12:10-13:10	休憩 各自で昼食		*生協休業
13:10-13:40	(9) 模擬授業の振り返り ・模擬授業検討会を受けて授業の改善点 ・今後のアクションプラン	川野卓二 吉田 博	教室:6-201
13:40-14:20	(10) プログラムのまとめ ・講評 ・教育力開発コースの意義・内容 ・修了証書授与 ・アンケート ・おわりの言葉	吉田博 (進行) FD委員会副委員長 大橋 守 FD委員会委員長 赤池雅史	教室:6-201

平成 27 年度 第 24/25 回 愛媛大学授業デザインワークショップ実施要項

1. 主催

愛媛大学 教育・学生支援機構 教育企画室（教職員能力開発拠点）

「愛媛大学授業デザインワークショップ」は『四国地区大学教職員能力開発ネットワーク（SPOD）』事業の一環である。

2. 期 日

第 24 回 平成 27 年 7 月 4 日（土）～7 月 5 日（日）久万高原ふるさと旅行村（宿泊研修）

第 25 回 平成 27 年 9 月 1 日（火）～9 月 3 日（木）愛媛大学城北キャンパス（通い型）

（同じ内容ですのでどちらか一方の参加となります。）

<第 24 回>

集合・出発時刻 1 日目 8:00 愛媛大学城北キャンパス正門前集合

8:10 出発（マイクロバスで移動）

※現地までは、原則として、愛媛大学から出発するマイクロバスでの移動をお願いします。

解散時刻 2 日目 15:20 愛媛大学城北キャンパス正門前解散

※詳細については以下のスケジュールをご参照ください。

<第 25 回>

集合・開始，終了時刻 1 日目 9 時 50 分集合，10:00 開始，19:30 終了予定（交流会含む）

2 日目 9 時 50 分集合，10:00 開始，17:00 終了予定

3 日目 8 時 50 分集合，9:00 開始，13:00 終了予定

※詳細については以下のスケジュールをご参照ください。

※上記日程でご都合が合わない方は、徳島大学，香川大学，高知大学においても同様の研修を実施しておりますので，そちらの研修にご参加ください。（詳細は 12 に表示）

3. 場 所

<第 24 回>久万高原ふるさと旅行村

〒791-1212 愛媛県上浮穴郡久万高原町下畑野川乙 488 番地 電話 0892-41-0711

URL:<http://www.kumakogen.jp/modules/furusatomura/>

<第 25 回>愛媛大学城北キャンパス

〒790-8577 愛媛県松山市文京町 3 番

<http://www.ehime-u.ac.jp/access/johoku/index.html>

4. 参加対象者（一度参加した者は除く）

- 1) 一昨年度から今年度にかけて大学等に採用された，授業担当または担当予定の教員（授業担当経験 5 年以上を除く）
- 2) 参加を希望する教員
- 3) 愛媛大学テニユア・トラック教員

5. 定員

<第 24 回>20 名程度

<第 25 回>20 名程度

6. 実行委員

弓削 俊洋（実行委員長，教育・学生支援機構長）

小林 直人（教育企画室長）

中井 俊樹（教育企画室教授）

仲道 雅輝（教育企画室講師）

清水 栄子（教育企画室講師）

村田 晋也（教育企画室講師）

丸山 智子（教育企画室特任助教）

加地 真弥（教育企画室特定研究員）

小林 忠資（教育企画室特定研究員）

濱元 悠子（教育企画チーム）

松本 章雄（能力開発室）

7. 目的

授業を担当するにあたって必要となる基礎的な知識と技術を学びます。具体的には，授業の構想・設計・実施・評価に関わる一連の過程をグループ作業として体験し，参加者相互の話し合いを経てそれに関する能力を身につけます。

8. 目標

- 1) 適切な目的・目標設定ができるようになる。
- 2) わかりやすいシラバスを書けるようになる。
- 3) 様々な授業方法を知り、目的・目標にあった方法を選択できるようになる。
- 4) 様々な成績評価方法を知り、目的・目標にあった方法を選択できるようになる。
- 5) 学生参加型のグループ作業を、自らの授業で導入することができるようになる。

9. 研修形態

- 1) 体験型研修です。複数のセッションに分かれて、ミニ講義とグループ作業を繰り返します。
- 2) 異なる学部 of 教員が、普段着で肩書きなしの対等な意見交換をすることで、学習効果を高めます。
- 3) 研修自体がグループ学習形式であり、学生参加型授業を体験します。
- 4) 全員が 10 分間の模擬授業を行います。

10. その他

- 1) 『愛媛大学 FD ハンドブック もっと!!授業を良くするために』第一巻（黄色い冊子）をテキストとして使用します。当日会場でお渡しします。
- 2) 研修が長時間に渡りますので、普段着でお越しください。
- 3) 第 24 回（7 月実施）では宿泊いたしますので、洗面道具・ドライヤー・タオル・寝間着（パジャマ）・虫さされなどの常備薬、懐中電灯等をご準備ください。
- 4) 参加費として、第 24 回（7 月実施）は、8,500 円程度（宿泊費、食費、交流会費など）、第 25 回（9 月実施）は、5,000 円程度（食費、交流会費など）を当日会場で徴収します。詳細は後日お知らせします。
なお、ご都合により参加できなくなる場合は、1 週間前までに必ずご連絡ください。ご連絡がない場合は、参加費をご負担いただくことがあります。
- 5) 第 24 回（7 月実施）に参加する愛媛大学の教員は、出張扱いとなりますので、各部署の総務担当にお問い合わせ願います。また、愛媛大学正門から会場までのマイクロバスを運行しますので、ご利用ください。
- 6) 当日、カメラとビデオカメラでの撮影を行いますので了承ください。
- 7) 修了証書は、全日程に参加された方だけに授与されますので、あらかじめご了承ください。
- 8) 事前にアンケートをお願いすることになりますのでご協力お願いいたします。

11. お申し込み・問い合わせ

参加申込書（様式 1）によりお申し込みください。

<愛媛大学申し込み・問い合わせ先>

E-mail : opar@stu.ehime-u.ac.jp TEL : (089)927-8922 (担当 加地)

12. プログラム日程(宿泊研修の予定)

○第 24 回（7 月実施）スケジュール

9:30 現地到着

時刻	内容	講師・司会(予定)	場所
9:30-9:40	(1) オリエンテーション ・研修の目的・目標の確認 ・スタッフ紹介とお願い	小林 直人	ふるさと館 会議室
9:40-10:10	(2) アイスブレイキング ・自己紹介 ・グループワーク	加地 真弥	ふるさと館 会議室
10:10-10:40	(3) ミニ講義 I 「何が学生の学びを促進するのか」	清水 栄子	ふるさと館 会議室

10:40-11:10	(4) ミニ講義Ⅱ 「シラバスの書き方」 ・目標設定の立て方	仲道 雅輝	ふるさと館 会議室
11:10-11:50	(5) ミニ講義Ⅲ 「コース設計&クラス設計」 ・授業計画の立て方	仲道 雅輝	ふるさと館 会議室
11:50-12:00	(6) グループワークⅠ「共通教育科目の開発Ⅰ」 ・目標設定 ・授業計画 ・シラバス作成	スタッフ全員	ふるさと館 会議室
12:00-13:00	集合写真撮影・昼食・休憩	—	村の茶の間 食堂
13:00-14:15	(7) グループワークⅡ「共通教育科目の開発Ⅰ」 ・目標設定 ・授業計画 ・シラバス作成	スタッフ全員	ふるさと館 会議室
14:15-14:25	休憩	—	—
14:25-15:00	(8) ミニ講義Ⅳ「様々な授業方法」 ・講義形式のメリット・デメリット ・双方向型授業のコツ ・体験型授業 ・参加型授業	中井 俊樹	ふるさと館 会議室
15:00-16:00	(9) グループワークⅢ「共通教育科目の開発Ⅲ」 ・シラバス作成 ・授業計画と評価計画	スタッフ全員	ふるさと館 会議室
16:00-16:10	休憩	—	—
16:10-16:45	(10) ミニ講義Ⅴ「学習評価の基本」 ・学習評価の目的 ・評価の方法と評価対象	小林 直人	ふるさと館 会議室
16:45-18:00	(11) 中間発表 ・発表 3分 ・コメント 15分	スタッフ全員	ふるさと館 会議室

第Ⅱ部 1日目(夜) プログラム日程

時刻	内容	講師・司会	場所
18:00-19:00	夕食	—	ふるさと館 食堂
19:00-21:00	(12) グループワークⅣ「共通教育科目の開発Ⅳ」 ・授業計画案作成 ※ミーティング(スタッフ)	スタッフ全員	ふるさと館 会議室
21:00-21:30	交流会	加地 真弥	ふるさと館 食堂
21:30-	ケビン移動・自由時間・お風呂	—	各ケビン

※シラバス&授業計画案の提出(～午前0時まで)

第Ⅲ部 2日目（朝・昼）プログラム日程

時刻	内容	講師・司会	場所
7:30-8:30	朝食	—	村の茶の間 食堂
8:30-10:00	(13) グループワークⅤ「共通教育科目の開発Ⅴ」 ・模擬授業の練習 ※シラバス・フィードバック（スタッフ）	スタッフ全員	ふるさと館 会議室 2F 研修室
10:00-12:00	(14) 模擬授業（導入の10分） ・模擬授業 10分 ・討議・検討 15分	スタッフ全員	ふるさと館 会議室 2F 研修室
12:00-12:30	(15) 閉会式 ・グループ作業の振り返り学んだことは何か？ （どう実践に活かすか？） ・修了証書授与 ・閉会の言葉	弓削 俊洋 小林 直人	ふるさと館 会議室
12:30-13:30	昼食	—	村の茶の間 食堂

13:45 現地出発予定

※内容等予定は変更になる場合がございます。

○第24回（9月実施）スケジュール

第Ⅰ部 1日目（朝・昼・夕）プログラム

時刻	内容
10:00-10:10	(1) オリエンテーション ・研修の目的・目標の確認 ・スタッフ紹介とお願い
10:10-10:45	(2) アイスブレイキング ・自己紹介 ・グループワーク
10:45-11:20	(3) ミニ講義Ⅰ「何が学生の学びを促進するのか？」
11:20-11:25	休憩
11:25-12:00	(4) ミニ講義Ⅱ「コース設計&クラス設計」 ・授業計画の立て方
12:00-13:00	集合写真撮影・昼食・休憩
13:00-13:35	(5) ミニ講義Ⅲ「シラバスの書き方」 ・目標設定の立て方
13:35-14:50	(6) グループワークⅠ「共通教育科目の開発Ⅰ」 ・目標設定 ・授業計画 ・シラバス作成
14:50-15:00	休憩

15:00-15:35	(7) ミニ講義Ⅳ「様々な授業方法」 ・講義形式のメリット・デメリット ・双方向型授業のコツ ・体験型授業 ・参加型授業
15:35-17:00	(8) グループワークⅡ「共通教育科目の開発Ⅱ」 ・シラバス作成 ・授業計画と評価計画
17:30-19:30	交流会

第Ⅱ部 2日目プログラム日程

時刻	内容
10:00-10:35	(9) ミニ講義Ⅴ「学習評価の基本」 ・成績評価の目的 ・評価の方法と評価対象
10:35-12:00	(10) グループワークⅢ「共通教育科目の開発Ⅲ」 ・評価計画
12:00-13:00	昼食
13:00-14:25	(11) 中間発表 ・発表 3分 ・コメント 10分
14:25-17:00	(12) グループワークⅣ「共通教育科目の開発Ⅳ」 ・授業計画の立て方

第Ⅲ部 3日目プログラム日程

時刻	内容
9:00-10:00	(13) グループワークⅤ「共通教育科目の開発Ⅴ」 ・授業の練習
10:00-12:30	(14) 模擬授業（導入の10分） ・授業紹介 ・模擬授業 10分 ・討議・検討 15分
12:30-13:00	(15) 閉会式 ・振り返り（学んだことは何か？どう実践に活かすか？） ・修了証書授与 ・閉会の言葉

※昼食はお弁当を準備いたします。

※一日目の交流会はできる限りご参加ください。

※内容等予定は変更になることがあります。

12. 他大学における新任教員プログラムのご案内

- 1) 愛媛大学「授業デザインワークショップ」及び以下の徳島大学、香川大学、高知大学で開催されている新任教員プログラムは、四国地区教職員能力開発ネットワーク(SPOD)内で標準化されており、どのプログラムを受講しても同様の効果を得ることができます。
- 2) 以下のプログラムの受講を希望される方は各大学申し込み先にご連絡ください。
- 3) 以下のプログラムは、愛媛大学テニユア・トラック制度における PD 認定プログラムとして認定されています。受講する際は、別途、旅費等が必要になります。

◆徳島大学「授業設計ワークショップ」

【日程】6月20日(土)～6月21日(日)

【会場】徳島大学大学開放実践センター2階(6号館 201)

【申し込み先・問い合わせ先】

徳島大学総合教育センター(担当/吉田)

TEL: 088-656-9865

E-mail: t-spod@cue.tokushima-u.ac.jp

◆香川大学「よりよい授業のためのFDワークショップ」

【日程】9月17日(水)～18日(木)

【会場】休暇村讃岐五色台(香川県坂出市)

【申し込み先・問い合わせ先】

香川大学教育・学生支援室修学支援グループ

TEL: 087-832-1153

E-mail: gakusenm4@jim.ao.kagawa-u.ac.jp

◆高知大学「学生の学びを支援する授業準備ワークショップ」

【日程】9月1日(火)～9月2日(水)

【会場】高知大学共通教育棟3号館1階310教室

【申し込み先・問い合わせ先】

高知大学学務部学務課

TEL: 088-844-8652

E-mail: y-spod@kochi-u.ac.jp